

BUNGOTAKADA-KUNISAKI 2024

鬼んぴくについて (ONIMPIC GAMES 2024)



鬼が仏になつた里
くにさき

English
explanation
starts
from page 12

鬼んぴっくの開催にあたって

ごあいさつ

日本遺産『鬼が仏になった里「くにさき」』や「くにさき」の独特の鬼文化を、より多くの方に知っていただくための取組として“鬼んぴっく”を開催いたします。

前回の鬼んぴっく2020では、多くの方にご参加いただき、スポーツや文化の競技に参加しながら、日本遺産くにさきの事を学んでいただく機会となりました。

今年はパリオリンピックの年ということで、日本遺産くにさきが誘客ターゲットにしておりますフランスにも国東半島の文化が届くキッカケになってくれればと考えております。

鬼んぴっくは、何も沢山の人を集めて、大きなイベントを開催する訳ではございませんが、豊後高田市・国東市の範囲で行われるローカルな大会に賑わいを創出したり、インターネットを通じて世界中から参加できるグローバルな競技もつくりたいと考えております。

「くにさき」の地域資源を多くの人にPRし、「くにさき」の鬼を世界に発信できるチャンスであると考えておりますので、ケガ防止や感染症対策を万全にして、楽しんで取り組んでいただければ幸いです。



KOC(くにさき鬼んぴっく委員会)会長
(六郷満山日本遺産推進協議会会長)

佐々木 敏夫

鬼んぴっくとは？

鬼んぴっくのねらい

パリオリンピックが開催される2024年に、競技系のイベントや、職人技を競う大会を“鬼んぴっく”と位置付けてPRすることで、各種イベントの賑わいを創出するもの。

鬼んぴっくは、みんなでつくる大会

鬼んぴっくの競技イメージは、豊後高田市・国東市のローカルな競技と、インターネットを通じて募集できるグローバルな競技（デザインや習字など、データや郵送で対応できるもの）を想定。

競技種目は一般募集をしており、KOCが認定した競技種目については、鬼んぴっく種目として運営でき、宣伝素材や鬼んぴっくメダルを提供することで、普段の大会にはない賑わいを創出する。

鬼んぴっく 全体スケジュール

事業内容

①開催宣言（6月上旬）

鬼んぴっく公式エンブレム／メダルデザインコンペ
鬼んぴっく種目募集開始
PR動画・デジタル素材作成開始

②鬼んぴっく開会（8月予定）

エンブレム・メダルデザイン発表

③各競技進行&動画制作

※ケーブルテレビと連携し、デジタル素材を使った
ニュース放送を実施

※各タイミングで鬼んぴっくメダルの授与式を想定

④鬼んぴっく閉会（翌3月予定）

鬼んびっく 競技種目募集

競技タイプA

スポーツ系の大会を鬼んびっく種目として運営。
(競技例) 野球、バレー、ロゲイニング、卓球など

競技タイプB

職人技を競う。両市のPRにも繋がる競技を実施したい。
(競技例) 蕎麦打ち、写真、方言、メダルデザインなど

競技タイプC

技術等を問わず、参加者の枠を広げるノンジャンル競技。
(競技例) 落花生はやむき、ハイハイ競争など

鬼んぴっく エンブレム・メダル

鬼んぴっく公式エンブレム・メダルのデザインは、鬼んぴっく競技種目とし、デザインコンペで決定する。

- ・世界中の方にデザインを募る。
エリア内の小中学生・高校生にも募集をかける。
- ・6～7月でデザインを募集をし、
デザイナーと一緒に審査を実施し、
8月には採用作品を発表します。
- ・完成後にデジタル素材への組み込み。
9月までにメダル、オリジナルグッズ作成。



↑鬼んぴっく2020
オリジナルメダル

『くにさきの鬼』について

☆鬼が仏になった里「くにさき」

「くにさき」の寺には鬼がいる。
一般に恐ろしいものの象徴である鬼だが、
「くにさき」の鬼は人々に幸せを届けてくれる。

おどろおどろしい岩峰の洞穴に棲む「鬼」は
不思議な法力を持つとされ、
鬼に憧れる僧侶達によって「仏（不動明王）」
と重ねられていった。

☆「くにさき」の鬼は日本遺産

人と鬼とがつむぐ唯一無二のストーリーは、
平成30年5月に日本遺産に認定されました。

鬼の文化を未来に継承するべく、
六郷満山日本遺産推進協議会を組織し、
くにさきの鬼を盛り上げる活動をして
きました。



日本遺産くにさきストーリーブック
『くにさきの鬼』

くにさきの寺には



鬼がいる——

くにさきの寺には



鬼がいる

くにさきの寺には

鬼がいる



くにさきの寺には

鬼がいる——



Greetings for the Onimpic Games

We will hold an Onimpic Games to let people know about Kunisaki peninsula's Oni culture in the Olympics year.

The Kunisaki Peninsula is an area called "Oni and Buddhas coexist as one", and beautiful scenery and ancient oni culture are preserved.

※The Japanese word "oni" is often translated as "demon" in English. But we decided to use the word untranslated. Because there are all kinds of different oni in Japan, from pretty scary monsters to friendly creatures that are deeply connected with local communities.

The Onimpics are a local event, but we also consider competitions that allow us to connect with people from all over the world through the Internet.

We would be grateful if you could participate in the Onimpic Games in order to liven up the Kunisaki Peninsula.



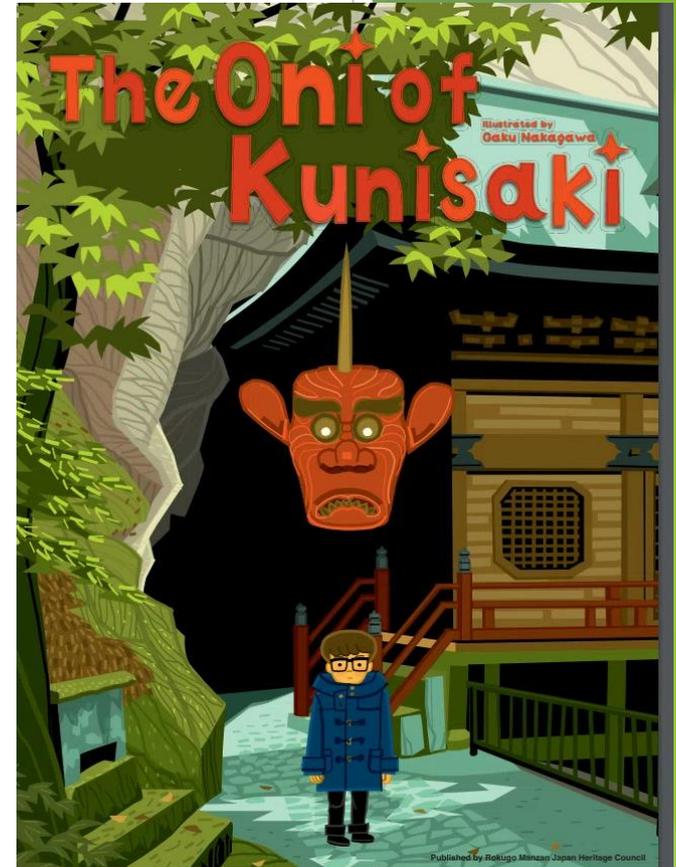
KOC (Kunisaki Onimpic Committee) chairman
(Rokugo-manzan Japan-heritage council)

Toshio Sasaki

The Oni of Kunisaki

If you want to know more about Oni of Kunisaki Peninsula, please read this picture book. There is also a commentary in the second half.

the data version (PDF) is also available in English and French, so please have a look.



Kunisaki's Oni culture Story book
The **Oni** of Kunisaki



Oni resides in the temples of Kunisaki



Oni resides in the temples of Kunisaki



Oni resides in the temples of Kunisaki



Oni resides in the temples of Kunisaki

Onimpics2024 Emblem/medal Design

The design of the **Onimpic** emblem and medal will be decided in the design competition. **Onimpic** medal will be given to the winner.

- We are recruiting from all over the world on the Internet.

※Please submit by email
(shujouonie@gmail.com) .

- The deadline is July 16th.
After that, the examination will be conducted and the emblem and medal will be decided in August.

※The medal will be completed in about September.



↑ Design example
(Design in a circle)